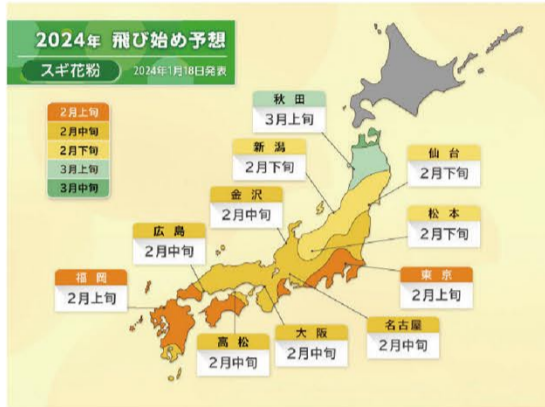


2024年最新版! 花粉 情報と 花粉 の取り方



今年も、まもなく花粉シーズンがはじまります。車が大変汚れるシーズンです。早いところでは2月上旬から花粉の飛散が開始します(日本気象協会調べ)。スギ花粉のピークが2月下旬から3月下旬、ヒノキ花粉のピークは3月中旬から4月中旬です。約2ヵ月もの間、全国で多量の花粉が飛散する予測です。今年の花粉飛散量は、多くの地域で例年並みかやや多いです。なお、花粉の飛散量は、前年夏の気象条件(花粉が増える条件は、高温・多照・少雨)が大きく影響するそうです。そこで、花粉汚れの正しい取り方や注意点をお知らせします。



※北海道はシラカバ主体のため対象外。
※北海道のシラカバのピークは4月中旬~6月初旬。

2024年 スギ・ヒノキ花粉のピーク予測

地域	種類	2月			3月			4月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
仙台	スギ									
東京	スギ									
金沢	スギ									
名古屋	スギ									
大阪	スギ									
広島	スギ									
高松	スギ									
福岡	スギ									

※2024年1月18日発表。
※仙台はヒノキのピークなし。

2024年 各地域の花粉飛散傾向

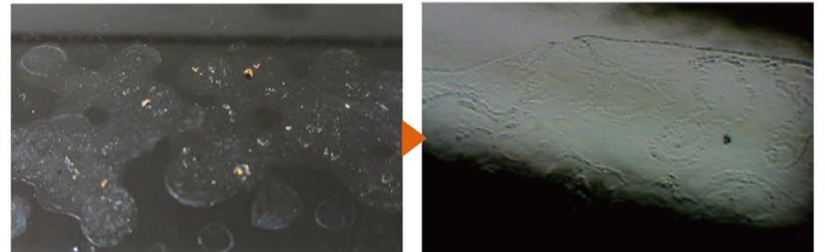
地方	例年比	前シーズン比	2023年夏の気象(6~8月)		
			気温	降水量	日照時間
北海道	非常に多い 230%	非常に多い 630%	かなり高い	平年並	多い
東北	やや多い 140%	多い 150%	かなり高い	少ない	かなり多い
関東甲信	並 100%	少ない 50%	かなり高い	平年並	かなり多い
北陸	やや多い 140%	少ない 60%	かなり高い	平年並	かなり多い
東海	やや多い 120%	並 90%	かなり高い	多い	かなり多い
近畿	やや多い 130%	やや少ない 70%	かなり高い	多い	多い
中国	やや多い 120%	少ない 60%	かなり高い	平年並	平年並
四国	並 100%	少ない 60%	高い	多い	平年並
九州	やや多い 120%	やや少ない 70%	かなり高い	平年並	平年並

※2024年1月18日発表。

(すべて日本気象協会HPより)

! 花粉シミは塗装表面の“変形”のため、ポリッシャーで研磨は絶対にNG! 逆に塗装を傷めてしまいます!

花粉に含まれるペクチンは、食パンに付けるジャムの原料(増粘剤=粘度を増すもの)に利用されている「べとべとする成分」です。一度雨で濡れてしまうと「べとべと」して、洗車で取りにくくなります。さらにこのべとべとした花粉は乾燥する際に収縮します。その収縮する力で塗装面をシミ跡のように変形させます。花粉シミはシミではなく、塗装の変形であるため、研磨しても解決せず、逆に塗装を傷める可能性があるため絶対にしてはいけません。



花粉が付着してシミになったように見えますが、塗装の変形です。

花粉がついたばかりで、まだ“べとべと”している時は「内窓クリーナー(アルコール)」をつけたキーパークロスで拭く。

車に乾いている状態で降りかかった花粉は、砂ボコリと同様に、洗車で簡単に流れ落ちます。しかし、一度雨で濡れてしまった花粉は「べとべと」して、洗車で取れにくくなります。

その場合、洗車後の拭き取りに、「内窓クリーナー」をつけたキーパークロスが良いです。内窓クリーナーには、適度な濃度のアルコール成分(50%程度)が含まれています。そのアルコール分によってペクチンの粘度を下げる効果があり、べとべとを抑えて、スカッと拭き取りやすくなります。



花粉を放っておくとできる“花粉シミ”には「熱いお湯(70℃くらい)」をかける。

花粉が付いたまま、しばらく放っておくと、花粉に含まれるペクチンが乾燥する際の収縮力で塗装面を変形させ、花粉のシミ跡ができてしまいます。そのため、花粉のシミ跡は、「内窓クリーナー」(①の方法)では拭き取れません。

花粉のシミ跡は「熱いお湯(70℃くらい)」をかけ続けることで消えます。熱いお湯をかけて塗装表面の温度を熱くすることで、ペクチンの収縮する力が失われます。そうなることで、花粉のシミ跡がキレイに消えてなくなります。

※もしくは、夏になって気温が高くなると、自然に消えてしまいます。



②シミが付いている部分にマイクロファイバークロスを敷いて上からお湯をかけていきます。

③ボディが温まっているかを確認します。

①70℃くらいの熱いお湯を用意します。



④シミが取れていることを確認します。



before



すっきりキレイになります!



after

花粉の取り方を紹介している動画です。参考にしてください。

